

2007 年度

科目名 マスコミ論 B	対象学科・学年 文学部日文1 回生 文学部英米1 回生 文学部文財1 回生 人間人社1 回生	担当者 小川 丈治
授業テーマ 映像作品の可能性		
授業の概要と目標 「マスコミ論」は新聞、雑誌、放送、映画などのメディア（Media=媒体）を通じて、大量の情報を不特定多数の人々に伝える行為(Mass Communication=マスコミュニケーション、略してマスコミ)を論じる学問です。この情報を表現する手段は、以前は言語が主でしたが、最近では映像に比重がかかっています。学校では言語（日本語、外国語）の勉強はしてきましたが、映像の見方や描き方の勉強はなおざりです。これではいけません。講義では映像作品の制作とその可能性に焦点を当ててお話しします。		
評価方法 採点は学年末のリポート内容70点、出席日数30点で計算します。		
テキスト 指定しません。毎回プリントを配付します。	著者	出版社
参考書 講義のたびに紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 <映像作品の制作現場> 第1 講 アメリカの映画制作 第2 講 コマーシャルの制作現場 <虚構としての映画の可能性> 第3 講 アニメの歴史概観 第4 講 アニメ作品を観る① 第5 講 「もののけ姫」 第6 講 アニメの制作現場 第7 講 第8 講 アニメ作品を観る② 第9 講 「火垂るの墓」 第10 講 アニメとドラマの表現 特性を比較する 第11 講 CG表現の可能性① 第12 講 「ジュラシックパーク」 第13 講 CG表現の可能性② 第14 講 「ハリーポッター」 第15 講 講義のまとめ <注意>「マスコミ論」を2単位だけとる人は、なるべく「マスコミ論A」（前期）を履修して下さい。B（後期）は前期の講義の応用編的内容です。 <備考>毎回所蔵のビデオや写真資料を多用し、言葉と映像の両方を使って、講義の主題に迫ります。講師は元TVディレクター。南米ペルーに滞在3年。		